



地球をデザインする会社

RO-5

東光コンサルタンツの技術短信 No.1 3 (道路)

ご覧いただいた方もいらっしゃると思いますが、ワールドカップ2006ドイツ大会が開催されていた同時期から、当社の設計成果が首都高速道路(株)のホームページで紹介されていました。

現在施工中の首都高速中央環状線との合築整備なのですが、以下のような記載があります。

環状6号線(山手通り)

環状6号線はJR山手線の外周に位置し、放射第18号線より大橋、中野坂上、要町などを経て、放射第9号線(中山道)に至る全長約20kmの道路です。渋谷松濤二丁目から豊島区要町一丁目までの約8.8kmの区間を、首都高速中央環状線と一体的に整備いたします。車道は4車線で、歩道寄りに荷おろしなどに利用できる停車帯を設け、停車しているクルマがもとで起きる交通渋滞を防ぎます。

主要な交差点では右折レーンなどを設け、スムーズに交通を流します。歩道はゆとりのある幅になり、自転車通行帯がつけられます。電線類が地中化され、広々とした緑豊かな快適でやさしい道路になります。

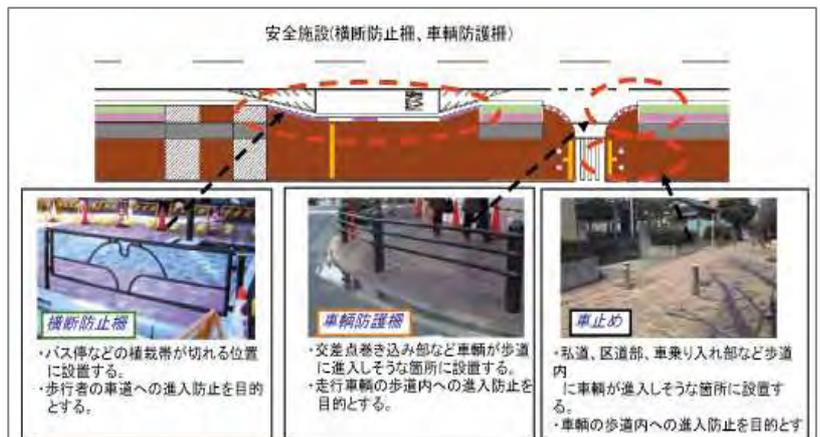
この環状6号線街路設計の一部区間を対象に、当社スタッフが知恵を絞りました。



首都高速道路(株)HPより

雑学 13: 道路の安全施設

安全施設は、道路における交通の安全を確保するために必要な施設で都道府県公安委員会が道路交通法に基づいて設備するもの(信号機、道路標識、道路標示の3種)と道路管理者が道路法に基づいて設置するもの(地下横断歩道を含む横断歩道橋、歩道、分離帯、道路照明灯、防護柵、道路標識、視線誘導標、道路反射鏡等の施設概念にとらえられるもの)とがあります。



安全施設参考例

東光の“街路築造補正設計提案”事例

環境に配慮し、地元の意向も反映した道路設計事例をご紹介します。

今回ご紹介するのは、東京 / 豊島区の環状6号線街路築造補正設計です。

業務内容は街路補正設計、CCBox 補正設計、横断歩道橋補正設計、側道設計、側道擁壁修正設計等ですが、併せて橋梁を中心とするパース作成も行いました。

今回提案の特徴

街路の縦断設計では、街路に取り付く高速ランプの縦断線形を考慮しながら、官民境界での段差が極力小さくなるよう配慮して計画しましたが、街路設計に焦点を絞ると以下のようなようです。

歩道部では、自転車通行帯と歩行者通行帯をツリーサークルで分離しました。

透水性のインターロッキングブロックを用い歩行者通行帯と自転車通行帯で色彩も変えたものとなりました。

樹木の選定では、高木・中木・低木各々の特徴を考慮し、緑陰効果や花色、紅葉などから景観も配慮しています。



歩行者通行帯(一般部)



・親しみや暖かさを感じ、沿線の植栽が映えてくる暖色系。

自転車通行帯



・車輪等の汚れを考慮した機能的なモノトーン系の色。
(山手通り全線でグレー系に統一)

高木：カツラ



・落葉広葉樹(樹高:15~20m)
(街路樹としては10m程度で管理)
・左右対称の狭円錐形の樹形。
・初夏のハート型の若葉、秋の紅葉美。
・緑陰効果大。

高木：メタセコイア



・落葉針葉樹(樹高:25~30m)
(街路樹としては20m程度で管理)
・円錐形の樹形。
・春の新緑、秋の紅葉美。
・緑陰効果小。

照明器具では、環状6号線(山の手通り)全線で統一され、整然とした景観となります。

車道用照明
(山手通り全線で統一)



歩道用照明



中木：ハナミズキ



・落葉広葉樹(樹高:4~5m)
・傘型の樹形。
・白~紅色の大きな4枚の総包を枝の先端に数多くつける。

低木：ドウダンツツジ



・落葉樹。
・街路樹としては萌芽力・復元性があるため剪定にて管理。
・開花は4~5月で花色は白、秋には紅葉する。



株式会社 東光コンサルタンツ

技術本部

担当営業：

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32番1号

TEL: 03-5950-7203 FAX: 03-5950-3652

URL: <http://www.tokoc.co.jp>

担当: 本社事業部技術第一部 鈴木、小島、布川